

そう だい
総 題 「エズラ記とネヘミヤ記」

だい か かい め
第3課 神の召し

ひらが かずひろ
平賀 和弘

いち あんそくにちごご
1. 安息日午後

かみさま ひと き はたら えら
神様は、それぞれの人を、ある決まった 働きのためにお選びになります。

エズラとネヘミヤもそうでした。

かみさま かれ ほ はたら えら
神様は、彼らにやって欲しい 働きがあったために彼らをお選びになりました。

はたら こわ しんでん まち た なお
その 働きのとは、壊されたエルサレムの神殿や町を建て直すことでした。

そして、この 働きの、ただ建物や町を建て直すことだけではなく、かみさま ひと こわ かんけい
をつくり直すことも含まれていました。

つまり、エズラとネヘミヤは、れいてきかいふく かみさま えら
イスラエルの霊的回復のために神様から選ばれたのでした。

に にちようび め
2. 日曜日：エズラとネヘミヤの召し

かみさま えら
エズラは、なぜ、神様によって選ばれたのでしょうか。

かれ かみさま みいだ けっしん
それは、彼が、神様を見出そうと決心したためでした。

せいしよ
聖書は、

しゅ りっぽう けんきゅう じっこう おきて ほう おし せんねん なな :じゅう しる
「エズラは主の律法を研究して実行し、イスラエルに掟と法を教えることに専念した」(エズラ7:10)と記しています。

せいしよ よ かみさま したが ことば ひとびと おし
エズラは、聖書を読んで神様に従い、さらに、そのみ言葉を、イスラエルの人々に教えました。

かみさま ことば ひとびと つた れいてきかいふく おこな
そうやって、神様のみ言葉が人々に伝えられ、イスラエルの霊的回復が行われていきました。

また、ネヘミヤは、なぜ、神様によって選ばれたのでしょうか。

かれ かみさま たみ ふか かんしん も
それは、彼が、神様とイスラエルの民に深い関心を持っていたためでした。

かれ た なお はたら き じぶん はたら さんか ねっしん
彼は、エルサレムの建て直しの働きのストップしてしまっていることを聞くと、自分もその働きの参加したいと熱心に
ねが
願うようになりました。

わたし かみさま あゆ かみさま なに じょうねつ あた
もし、私たちが、神様とともに歩んでいるならば、神様のために何かをしたいという情熱が与えられることがあります。

さん げつようび よげん
3. 月曜日：預言のタイミング

かみさま め きげんぜんよんひやくごじゅうななねん いっせい だいななねん
神様が、エズラを召されたのは、紀元前 4 5 7 年 (アルタクセルクセス I 世の第 7 年) のことでした。

それは、おう しんでん まち た なお めいれい だ とし
それは、アルタクセルク王によってエルサレムの神殿や町を建て直す命令が出された年のことでした。

なな : なな一にじゅうろく
(エズラ7 : 7-26)。

さらに、この年は、二つの預言が始まった年でもあります。

二つの預言とは、ダニエル書9章の70週とダニエル書8章の2300日の預言です。

エズラが神様に召されたのは、神様の大きな救いの計画のためでした。

4. 火曜日 : 70週と2300日

エズラ記は、ダニエル書の70週(ダニエル9 : 24)と2300日(ダニエル8 : 14)の預言がい
つから始まったかを理解するのに役立ちます。

二つの預言は、紀元前457年から始まりました。

神様の預言と実際に起こった出来事が、驚くほど正確に一致していることがわかります。

• B.C. 457年 : 70週と2300日の預言の始まり。エルサレムの神殿と町の
建て直しの命令。

• B.C. 408年 : エルサレムの神殿と町の完成。

• A.D. 27年 : 救い主の到来。

• A.D. 31年 : 十字架。

• A.D. 34年 : 70週の預言の終わり。ステファノの死。異邦人伝道の始まり。

• A.D. 538年 : 1260年の法王至上権時代の始まり。

• A.D. 1798年 : 1260年の法王至上権時代の終わり。

• A.D. 1844年 : 2300日の預言の終わり。イエス・キリストの天の至聖所での奉仕の始
まり。

5. 水曜日 : 神の選び

神様が、人を選ばれるには、二つの目的があります。

一つは、神様はわたしたち一人ひとりを救い、わたしたちがイエス様に似たものとなるためにお選びになります。

神様は、召し出した者たちを義とし(義認し)、栄光を与えて(聖化して)、わたしたちをイエス様のように変えてくださ
います(ローマ8:30)。

もう一つは、神様は人を、ある決まった働きのためににお選びになります。

たとえば、「わたしはヤコブを愛し、エサウを憎んだ」(ローマ9::13)という言葉は、神様はヤコブだけ
を愛しエサウを憎んだという意味ではなく、ヤコブもエサウも愛しているけれど、ヤコブをイスラエル民族の父と
する目的のために選ばれたことを意味しています。

6. 木曜日 : 私たちの責任

人は、選択の自由(自由意志)が与えられています。

かみさま め とき かみさま め う い こぼ えら
神様がわたしたちを召される時、神様の召しを受け入れるか、拒むか、わたしたちは選ぶことができます。

それが、わたしたちの責任です。

エズラやネヘミヤは、喜んで神様の召しを受け入れました。

また、モーセは、「自分は力不足でとても神様の働きをすることはできません」と反論(反対する意見)や言

い訳をして、神様の召しを拒みました。

しかし、最終的に、モーセは、神様のお守りを信じて、神様の召しを受け入れ、自分に与えられた働きを

忠実に行うようになりました。

7. 金曜日：さらなる研究 (話し合いのための質問)

• あなたは、神様のために何かしたいと、神様から情熱を与えられたことはあるでしょうか。

• 神様の召しを拒むために、わたしたちは、どんな言い訳することがあるでしょうか。